

2022年度 自己評価報告書

大阪ベルエベル美容専門学校

評価対象期間:2022年4月1日～2023年3月31日

2023年4月1日現在

評価	
4	適切
3	ほぼ適切
2	やや不適切
1	不適切

目次

1. 学校の教育目標

2. 評価項目の達成及び取り組み状況

(1) 教育理念・目標

- 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか
- 学校における職業教育の特色は何か
- 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか
- 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか
- 各学科の教育目標、育成人材像は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか

(2) 学校運営

- 目的等に沿った運営方針が策定されているか
- 運営方針に沿った事業計画が策定されているか
- 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか
- 人事、給与に関する規定等は整備されているか
- 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか
- 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか
- 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
- 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

(3) 教育活動

- 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか
- 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか
- 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
- キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか
- 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか
- 関連分野における実践的な職業教育(インターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか
- 授業評価の実施・評価体制はあるか
- 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか
- 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか
- 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか
- 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか
- 関連分野における業界等との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか
- 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか
- 職員の能力開発のための研修等が行われているか

(4) 学修成果

- 就職率の向上が図られているか
- 資格取得率の向上が図られているか
- 退学率の低減が図られているか
- 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか
- 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか

(5) 学生支援

- 進路・就職に関する支援体制は整備されているか
- 学生相談に関する体制は整備されているか
- 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
- 学生の健康管理を担う組織体制はあるか
- 課外活動に対する支援体制は整備されているか
- 学生の生活環境への支援は行われているか
- 保護者と適正に連携しているか
- 卒業生への支援体制はあるか
- 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか

(6) 教育環境

- 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
- 学内外の実習施設、インターンシップ、研修等について十分な教育体制を整備しているか
- 防災に対する体制は整備されているか

(7) 学生の受け入れ募集

- 学生募集活動は、適正に行われているか
- 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
- 学納金は妥当なものとなっているか

(8) 財務

- 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
- 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
- 財務について会計監査が適正に行われているか
- 財務情報公開の体制整備はできているか

(9) 法令等の遵守

- 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
- 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか
- 自己評価結果を公開しているか

(10) 社会貢献・地域貢献

- 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
- 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
- 地域に対する開講講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか

1. 学園・学校の教育目標等

【学園理念】

ロイヤル学園に関わる全ての人へ教育を通じて、感動を提供し社会に貢献する。

【学園コンセプト】

本気を生み出し、幸せを広げる。

【ビジョン】

日本で一番、素晴らしい美容とブライダルの教育をする専門学校を目指す。

【教育目標】

ミライ創造の旗手であれ

【ミッション】

最高の教育と顧客サービスによって、我々に関わる全ての人の幸福を実現する。

【クレド】

- ① 相手の幸せを追求することにより、自らの幸せを手に入れる
- ② 崇高な仕事に誇りと責任を持ち、常に自己を磨き続ける。
- ③ 変化を恐れず、変化を受け入れ、変化を楽しみ、常に進歩する。

2. 評価項目の達成及び取り組み状況

(1) 教育理念・目標

	評価項目	評価
(1)-1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4.0
(1)-2	学校における職業教育の特色は何か	3.6
(1)-3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3.7
(1)-4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3.4
(1)-5	各学科の教育目標、育成人材像は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3.6
A.取り組み・課題・今後の改善方策		
<p>「1. 学園・学校の教育目標等」でも示す通り学園の理念及び目的、ビジョンを明確にしており、正しい理解の為、毎月の社内報や勉強会を実施。実践教育に重点を置き、卒業時点のあるべき姿・卒業5年後の理想とする姿を明確にする。</p> <p>HP・パンフレットにおいても学園理念を掲げ、学園の方向性を明確にしている。</p> <p>卒業生・就職先企業様からの聞き取り調査を行い離職率の低減を図ると共に求められる人材像や時代に即したニーズを常に取り入れる取組みを行っている。</p>		

(2) 学校運営

	評価項目	評価
(2)-1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	3.9
(2)-2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3.9
(2)-3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3.6
(2)-4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	3.8
(2)-5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3.7
(2)-6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3.5
(2)-7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3.7
(2)-8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.4
A. 取り組み・課題・今後の改善方策		
<p>10月～12月にかけて、学園の理念・方針、事業計画に基づき社会情勢等も踏まえた次年度の計画を策定。 運営組織や規定等も見直しを行い、明確化している。 2022年度より人事・給与に関する制度の見直しを行ったがその際出てきた声を2023年度の改善に役立てていく必要がある。教務部、経理部等各専門部署を配置し学園全体の教育活動が円滑になるよう、組織整備を行っている。 教育活動やその他情報等に関してはHPにて情報公開を行い、パンフレットにも記載を行っている。 情報システム化に関しても業務効率を図っているが見直しが必要なシステムもあるのでその点改善が必要。</p>		

(3) 教育活動

	評価項目	評価
(3)-1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3.8
(3)-2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.7
(3)-3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3.6
(3)-4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.7
(3)-5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3.5
(3)-6	関連分野における実践的な職業教育(インターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	3.5
(3)-7	授業評価の実施・評価体制はあるか	3.7
(3)-8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3.3
(3)-9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4.0
(3)-10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.8
(3)-11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.2
(3)-12	関連分野における業界等との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	3.1
(3)-13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	3.5
(3)-14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	3.7
A. 取り組み・課題・今後の改善方策		
<p>毎年10月頃から次年度計画がスタートし、方針・目標の策定、その内容に沿った各部署の目標を掲げる。教育内容に関しては関連企業や卒業生の就職先からの声を取り入れながら実践的な授業や資格取得対策授業をカリキュラムとして設定し指導要領作成を行っている。</p> <p>実際の授業では新型コロナウイルスの影響も時期によるが昨年、一昨年と比べ落ち着き、対面授業を中心とした教育を行えた年であった。</p> <p>コロナ対策が緩和され落ち着きは取り戻したが、反面入学生や在校生が抱える課題として「コロナ禍におけるモチベーションの低下」「基礎学力不足」「職業進路意識の低下」等に対して、現状の把握と対策を行い修正していく。</p> <p>成績評価等に関しては学則等で明文化している。</p> <p>教員勉強会の開催もしており、年度末には教員による各学科での関連する技術力を競う場を設けるなどの取り組みも行っている。学園独自の内部検定試験も実施している。</p>		

(4) 学修成果

	評価項目	評価
(4)-1	就職率の向上が図られているか	3.8
(4)-2	資格取得率の向上が図られているか	3.5
(4)-3	退学率の低減が図られているか	3.6
(4)-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.9
(4)-5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3.6
A. 取り組み・課題・今後の改善方策		
<p>学校内部では就職授業を取り入れ、生徒それぞれがその生徒にとってミスマッチなく、希望するより良い企業様に就職することを目的に授業を行っている。</p> <p>また、就職専任の職員の配置し、就職後1年未満の離職率の低減に重点を置いている。その為、卒業後の卒業生の調査を行い卒業生のフォローはもちろんのこと、企業様へのヒアリング内容を授業に取り入れ業界のニーズを踏まえた生徒自身が役に立つと感じる実践授業をすることに今年度においても重きを置き実行できた。</p> <p>資格に関しては資格取得に関する授業を多く設定しており、また生徒のレベルを確認テスト等で把握し個別指導等の対策を実行し資格取得率向上を図っている。</p> <p>学校生活においても個人面談の実施や心理カウンセラーとの連携等で生徒の不安感を解消することで退学率の低減を図っている。</p>		

(5) 学生支援

	評価項目	評価
(5)-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.9
(5)-2	学生相談に関する体制は整備されているか	3.6
(5)-3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3.5
(5)-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3.2
(5)-5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3.5
(5)-6	学生の生活環境への支援は行われているか	3.3
(5)-7	保護者と適切に連携しているか	3.3
(5)-8	卒業生への支援体制はあるか	4.0
(5)-9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3.0
A. 取り組み・課題・今後の改善方策		
<p>就職に関する専任部署を「(4)学修成果」にも記載の通り配置し生徒の相談、進路指導にあてられている。</p> <p>経済支援に関しても独自の制度である特待生制度・経済支援給付奨学金を設けており、高等教育修学支援新制度の対象校である。</p> <p>課外活動に関しては特に設定はしていないが、外部イベントへの参加が2020・21年度新型コロナウイルス関連の活動制限によりごくわずかとなっていたが、2022年度においては緩和されている部分も多くなり増加している。生徒にとって学外での活動は卒業後にも生きる貴重な経験となる為、今後においても生徒の健康・安全を第一に実施していく。</p> <p>学生生活においては担任個人面談、カウンセラーの配置、健康診断の実施等、安心・安全に学べる環境創りをを行っている。</p> <p>「(4)学修成果」の通り、卒業生へのフォローを行っており卒業するまでではなく、長く関連業界で活躍できるようサポートを行っている。</p> <p>社会人の方に向けた教育環境については、別科である美容通信教育課程にて受け入れている。</p>		

(6) 教育環境

	評価項目	評価
(6)ー1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.7
(6)ー2	学内外の実習施設、インターンシップ、研修等について十分な教育体制を整備しているか	3.5
(6)ー3	防災に対する体制は整備されているか	3.2
A. 取り組み・課題・今後の改善方策		
<p>大阪ベルェベル美容専門学校第二校舎である中津校舎を2023年4月設置。2022年度においては工事期間であった。現状の施設・設備でも対応できるが、今後も時代に即した施設設備の整備を行っていく。</p> <p>コロナ禍における規制等が2022年度より少しずつ緩和されてきているが、今後こういった不測の事態について防災や防犯も含め体制の整備を進めていく必要がある。</p>		

(7) 学生の受け入れ募集

	評価項目	評価
(7)ー1	学生募集活動は、適正に行われているか	3.7
(7)ー2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.8
(7)ー3	学納金は妥当なものとなっているか	4.0
A. 取り組み・課題・今後の改善方策		
<p>学生募集専門部署と学校教職員が主となり学生募集対応を実行。独自の説明資料、パンフレットでの教育内容の説明も行いながら、実際どのような技術があるのか授業体験等を行い、専門学校の授業の一部ではありますが体験して頂いている。</p> <p>学納金に関しても、社会情勢等を鑑み妥当な額となるよう設定を行っている。</p>		

(8) 財務

	評価項目	評価
(8)-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3.6
(8)-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.7
(8)-3	財務について会計監査が適正に行われているか	4.0
(8)-4	財務情報公開の体制整備はできているか	4.0
A. 取り組み・課題・今後の改善方策		
生徒数確保により財政基盤は安定しているといえ、予算・収支計画、会計監査は適正であり、財務情報についてもHPにて公表を行っている。		

(9) 法令等の遵守

	評価項目	評価
(9)-1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4.0
(9)-2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.9
(9)-3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3.5
(9)-4	自己評価結果を公開しているか	4.0
A. 取り組み・課題・今後の改善方策		
法を遵守した学校運営が為されている。 個人情報についてもシステムパスワード等により適正に行っている。 自己評価結果をHPで公表を行っている。		

(10) 社会貢献・地域貢献

	評価項目	評価
(10)ー1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.6
(10)ー2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3.7
(10)ー3	地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	3.0
A. 取り組み・課題・今後の改善方策		
<p>2020・2021年度においてコロナ禍により地域・企業イベント等への参加は生徒の健康、安全面によりかなり少なかった(2件程度)が、2022年度に関しては自粛の緩和もあり参加件数が増加できた(約40件)。</p> <p>今後に関しても、生徒の健康管理及び社会情勢を踏まえ、臨機応変に対応をする。</p>		

2022年度 大阪ベルエビル美容専門学校 学校関係者評価報告書

大阪ベルエビル美容専門学校 学校関係者評価委員会は、2022年度 自己評価報告書に基づき、学校関係者評価を実施し致しましたので、その結果を次の通り報告致します。

開催日時 2023年5月10日13時00分

会場 統括センター会議室

学校関係者評価委員会 委員

委員	・株式会社ロイヤル	田村 隆行
	・滝川株式会社	井上 寛教
	・HRFクリエイト株式会社	藤井 康輔

出席委員

・株式会社ロイヤル	田村 隆行
・滝川株式会社	井上 寛教
・HRFクリエイト株式会社	藤井 康輔

～各評価基準の学校関係者評価・意見～

●基準1 教育理念・目標

評価者意見

- ・学園理念や教育目標等に対して具体的に何をやるのかどこをゴールとするのかまで設定されており、教職員の方々がそれぞれ部署により目標は違えど、学園全体の理念・目標を組織的に達成できるようにされていると感じます。
- ・2022年度から学園としての目標を達成できる組織づくりを目指すべく幹部の方々でのプロジェクトを組まれているとお聞きしました。その点を踏まえた2023年度、より組織的な成長ができるのではないのでしょうか。そういった成長が在籍する生徒達にとっても良い影響を与えるように思います。

●基準2 学校運営

評価者意見

- ・「教育理念・目標」の項目でも話が出た目標に沿っての計画を立てられていると感じております。
2022年度のテーマとして掲げられていたのが“組織力”とお伺いし、学園全体で一致団結し、変化を恐れず目標に対しての意識を一貫することと、臨機応変な対応を柔軟にできる組織づくりをして頂きたい。
- ・人事、給与の制度に関しては2022年度より見直しも行われており整備をされているのではないかと思います。
2022年度実行した内容から2023年度さらに精度を上げていかれるよう改善を行いさらに良いものを目指して頂きたい。
- ・情報公開に関してはHPでされているのを確認いたしました。

●基準3 教育活動

評価者意見

- ・新型コロナウイルスによる制限が緩和され、専門学校として対面授業中心の実践教育がしやすくなったことについて非常に喜ばしいことです。コロナ禍により不測の事態に対応することが多く、今もそれは継続中ではあると思いますが、臨機応変に教育の機会を減らすことの無いよう運営して頂きたい。オンライン授業等やってみてよかったことに関しては授業内容により今後も継続しても良いのではと思います。今の学生のコロナ禍におけるモチベーションの低下や基礎学力不足等、本来専門学校に入学するまでに学んできたことを学べていない生徒が多いかと思えますので、技術力以外の人間力の成長をさせることが求められるのではないのでしょうか。教職員の方々に対しても勉強会・研修会を活発に開催されており、技術力や教員力の向上の為の機会が多く今後も継続して頂きたい。

●基準4 学修成果

評価者意見

- ・美容業界、ウエディング業界において離職率の低減は学校だけでなく業界全体にとってプラスとなります。卒業生のフォローや就職先企業との関わりの中で専門学校で学ぶべき内容も業界のニーズを取り入れたものになると思います。就職専任の職員がいることも生徒の安心材料になるでしょう。現場の楽しい部分厳しい部分を在学中にわかるよう伝えて頂き、就職後のミスマッチを今後さらに防げるのではないのでしょうか。

●基準5 学生支援

評価者意見

- ・進路、就職支援に関しては「学修成果」の項目にもあったように、かなり手厚く整備されていると感じております。学生相談についても普段の学校生活においては担任の先生方、またカウンセラーの方もおられるようなので各分野ごとに相談先があることで、生徒も安心して学べる環境にあるのではないのでしょうか。
- ・コロナ禍における活動の制限も緩和され外部イベントの参加が増加したことは喜ばしいことです。授業では学べないことをたくさん学べると思いますので、安全第一は変わらずに2023年度についても参加いただきたいです。

●基準6 教育環境

評価者意見

- ・大阪ベルエビルの中津校舎を拝見し、どんなサロンに就職してもやっていけるような施設設備を整えられており教育環境の向上を常に考えられているのが伝わって参りました。
- ・防災に対しては最近大きな地震が多発している為、今後一層の準備が必要なのではと考えます。運営しておられる4校が連携して万が一に備えることが重要ではないのでしょうか。

●基準7 学生の受け入れ募集

評価者意見

- ・良い傾向であると感じる。学園全体の出願者数は昨年より増加しておられる。

●基準8 財務

評価者意見

- ・適切であると見受けられる。

●基準9 法令等の遵守

評価者意見

- ・法令を遵守し、自己評価に関しても実施及び問題点改善がみられる。
HPにて情報公開もされている。

●基準10 社会貢献・地域貢献

評価者意見

- ・コロナ禍での規制が緩和され、イベント参加数もかなり増加されており生徒の学校外での学びの機会が増えることは大変良い事だと思います。
貴重な機会であるため、安全第一で取り組んでいただきたい。